

- ♣ 扉 ストリート・ライブラリー 小畑美史 1
- ♥ まなぶということ 鈴木孝雄 2
- ♠ 詩 「民族浄化」 地引 浩 4

特集

ほんとうに

戦争になるの？



21世紀の帝国主義と戦争……………菅原修一 6

自衛隊はどう変わってきたのか

いま問われる安全保障と外交……………半田 滋 12

いま沖縄で起きていること

米兵の性犯罪と自衛隊基地建设……………伊波洋一 18

戦争がロシア人にもたらしたもの

アフガニスタン介入をふり返って……………湯浅 剛 21

戦争と経済 行き着く先は……………北村 巖 24

緊急事態を使い国家管理を強化する自公政権……………白石 孝 27

政治・戦争と向き合ってきた青年たち……………新岡佑太 30
平和について考える

花退治の時代がすぐそこに……………大野和興 32

国家と教育 ⑰ 戦前教科書の制度的変遷……………飯野友香理 35

日本のうしろ 世界のうしろ

政治資金規制法改正地方自治法、都知事選……………横田昌三 53

混乱するイギリス政治と市民の選択……………木村牧郎 53

職場の法律相談 希望退職というが強い説得が不安……………中川 亮 61

◆ この本を読んで……………39	◆ 働くものと健康……………50
◆ キャラバンサライ……………40	◆ 働く現場から……………52
◆ スポーツ時評……………42	◆ 情報BOX……………64
◆ 世界はいま……………44	◆ 北から南から……………65
◆ 経済を知ろう！……………46	◆ センターと……………68
◆ 中国観看……………48	◆ みなさんをつなぐ……………68

カット＝野崎安希子

まなぶということ

従順であってはならない

鈴木 孝雄

8月は平和を考える上でとても大切な季節です。満州事変から14年、1945年広島、長崎に原爆が投下され、ポツダム宣言を受諾して戦争は敗北に終わりました。

国民は、新憲法を受け入れました。幣原喜重郎は憲法9条について、「戦争放棄は正義に基づく正しい道であって、日本はこの大義を掲げて国際社会の中をとぼと歩いていく。将来に列国は必ず戦争の放棄をしみじみと考えるに違いなし。その時自分は既に墓場の中であろうが、墓場の陰から後ろを振り返って列国がこの大道につき従ってくる姿を眺めて喜びとしたい」と述べています。

鈴木安蔵らの民間憲法草案が果たした役割はご承知の通りですが、小委員会で社会党の鈴木義男たちが憲法9条に「国際平和を誠実に希求し」を挿入したことや、森戸辰男たちが25条に「生存権」を付加したことなどは、残念ながらあまり

知られていません。17条の国家賠償責任や40条の刑事補償も、GHQ案にはなかったことです。

鈴木安蔵は、自由民権運動を研究し、植木枝盛の「東洋大日本国権按」を発掘しました。この第70条には「政府がこの憲法に背くときは、日本人民は政府に従わなくてよい」、71条「武器を以て政府に対抗することができる」、72条「打倒して新たな政府を設けることができる」とする「抵抗権・革命権」が明記されていることに驚きます。

ひめゆり部隊の乙女たちが「自分たちは従順だった」と述べています。真面目に従順という事は正しいように思いますが、いまや私たちは政府や企業に従順であってはならないのです。蟹工船の労働者がとった手段は、作業スピードを緩めていく「さぼ」でした。一人では抵抗できないからこそ、団結し集団で抵抗することが必要になります。自分に責任がある、と思いつまされたら抵抗も反抗もあり得ません。この自己責任論を打ち破るには、学習の力が必要です。ぜひ私たちと一緒に、「まなぶ」で学習をしませんか。

(労働大学まなぶ友の会全国連絡会議 会長)